

学校だより
はす

ぬま

ちゅう

かがみ

蓮沼中鏡

平成28年度 第14号
平成28年11月22日発行
大田区立蓮沼中学校
校長 大原章博

『電池が切れるまで』

11月28日(月)～12月2日(金)
生命尊重週間

ある院内学級で命と向きあう日々を過ごす子どもたちが綴った詩や作文が収められた「電池が切れるまで 子ども病院からのメッセージ」というタイトルの本があります。その中に、宮越由貴奈さんが亡くなる4ヶ月前に書いた「命」という詩が掲載されています。彼女は、5歳のときに発症した神経芽細胞腫という難病のため、5年半にも及ぶ闘病生活の末11歳という短い生涯を終えました。同書をもとに『電池が切れるまで』とのタイトルで2004年にテレビドラマ化もされています。

私たちは 毎日の生活の中で、健康に生きていることに幸せを感じたり、それを意識したりすることは少ないと思います。しかし、世の中には大病を患い、生きることや健康であることに幸せを感じている人もいます。私たちは親から「命」を授かり、この世に生を受けました。だからこそ今があり、自分の命を大切にしなければなりません。

宮越由貴奈さんは、生きようとしても病魔に襲われ長く生きることができないとわかっています。それでも最後まで生き抜こうとする強い意志が、電池に例えられて右の詩に表われています。自分がいま生きていること、自分が家族や周囲から愛され必要とされていることに自信をもち、自分自身を理解することが大切です。そして、自分の命を大切にするだけでなく、周囲の人も大切にしてほしいのです。昔から「親より先に死ぬこと以上の親不幸はない」と言われています。親からもらった命を、自ら絶つようなことは絶対あってはならないのです。

そのためには、今を大切にすることと目標をもって生活することが必要です。そして精一杯に生きていこうとする強い意志が大切です。さらに、自分自身の「命」を大切にするだけでなく、他人の「命」も大切にしなければなりません。「思いやりの心」や「相手の立場を考える優しさ」が重要です。言葉によるからかいや悪口、陰口など、人を不愉快な思いをさせ、心を傷つけるような行為は、絶対に許されることではないのです。もちろん、暴力によって他人の体を傷つける行為などはもってのほかです。

生徒一人ひとり、頭では理解しているのです。しかし、実行できなくては全く意味がありません。生徒が全員、楽しく笑顔で学校生活を送ることができるようにするためにも、自他を問わず一つだけの「命」を大切にすることは当たり前のことなのです。

生徒間のトラブルやいじめに限らず、大人による虐待やネグレクトなどもあってはならないことだと思います。私たち大人は、子供の健やかな成長と幸せを願い、愛情を注ぎ支援していかなければと思います。

「命」 宮越由貴奈(小四)

命はとても大切だ
人間が生きていくための電池みたいだ
でも電池はいつか切れる
命もいつかはなくなる
電池はすぐにとりかえられるけど
何年も何年も
月日がたってやっと
神様からあたえられるものだ
命がないと人間は生きられない
でも
「命なんかいらない。」
と言って
命はそう簡単にはとりかえられない
命をむだにする人もいる
まだたくさん命がつかえるのに
そんな人を見ると悲しくなる
命は休むことなく働いているのに
だから 私は命が疲れたと言うまで
せいいっぱい生きよう

★ 文化の秋 ★

第45回大田区立中学校連合学芸会

★ 音楽の部 ★

11月2日(水)にアプリコ大ホールにて開催されました。本校からは、合唱コンクールで金賞を獲得した3年C組が出演し、蓮中祭での自由曲「生きている証」を発表しました。かなり緊張していたようですが、堂々と歌いきりました。他校も、中学生らしく素晴らしい合唱を聴かせてくれました。



★ 演劇の部 ★



11月8、9日の2日間に渡り、大田区民プラザ大ホールにて開催されました。今年度は、10校の参加がありました。本校は、演劇部が「超正義の人」を2日目に発表しました。蓮中祭での上演後、なかなか練習がでず本番を迎えたり、舞台の広さに戸惑ったりしましたが、全員1年生という部活にとっては、今後につながる良い経験になりました。

また、大田区代表として大森第六中学校演劇部が都大会に推薦されました。

★ 英語の部 ★

11月11日(金)に大田区民センターホールにて開催されました。プレイ(英語劇)「The Lamp for Freedom」を上演しました。会場の音響設備のンプが故障し、BGMが流れないというハプニングがありました。しかし部員は、動じることなく大きな声で発音に気をつけながら、最後まで演じ切ることができました。これも日頃の練習の成果だと思います。



大田区立中学校連合美術展



11月9日(水)から16日(水)の期間、池上会館にて中学校美術展が開催されました。区内28校の中学生の美術作品が展示されました。本校からは、「明朝体」(1年)、「銘々皿」(2年)、「孔版・シルクスクリーン(紙16回刷と布8回刷)」(3年)で58点を出品しました。

区中P音楽祭

11月12日(土)に区民センターホールにて区中P音楽祭行われました。蓮中祭でも披露したように、鈴木先生のギター伴奏で「海の声」を歌いました。

各学校とも、PTAの活動として合唱練習を重ねてきた成果を発表していました。本校のようにギター伴奏があったり、無伴奏があったり、バンドでの参加があったりしてバラエティーに富んだ発表でした。土曜の一日を美しいハーモニーと共に過ごすことができ、気分もリフレッシュされました。

生徒の活躍

卓球部…大田区中学校新人卓球大会 11/5, 6

○男子団体 優勝 ○男子個人・2年生の部 優勝(2A鈴木) 第5位(2B佐藤、2A三宅)

「税についての作文」…東京小売酒販組合蒲田支部 支部長賞(3A竹内)